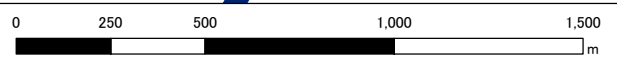
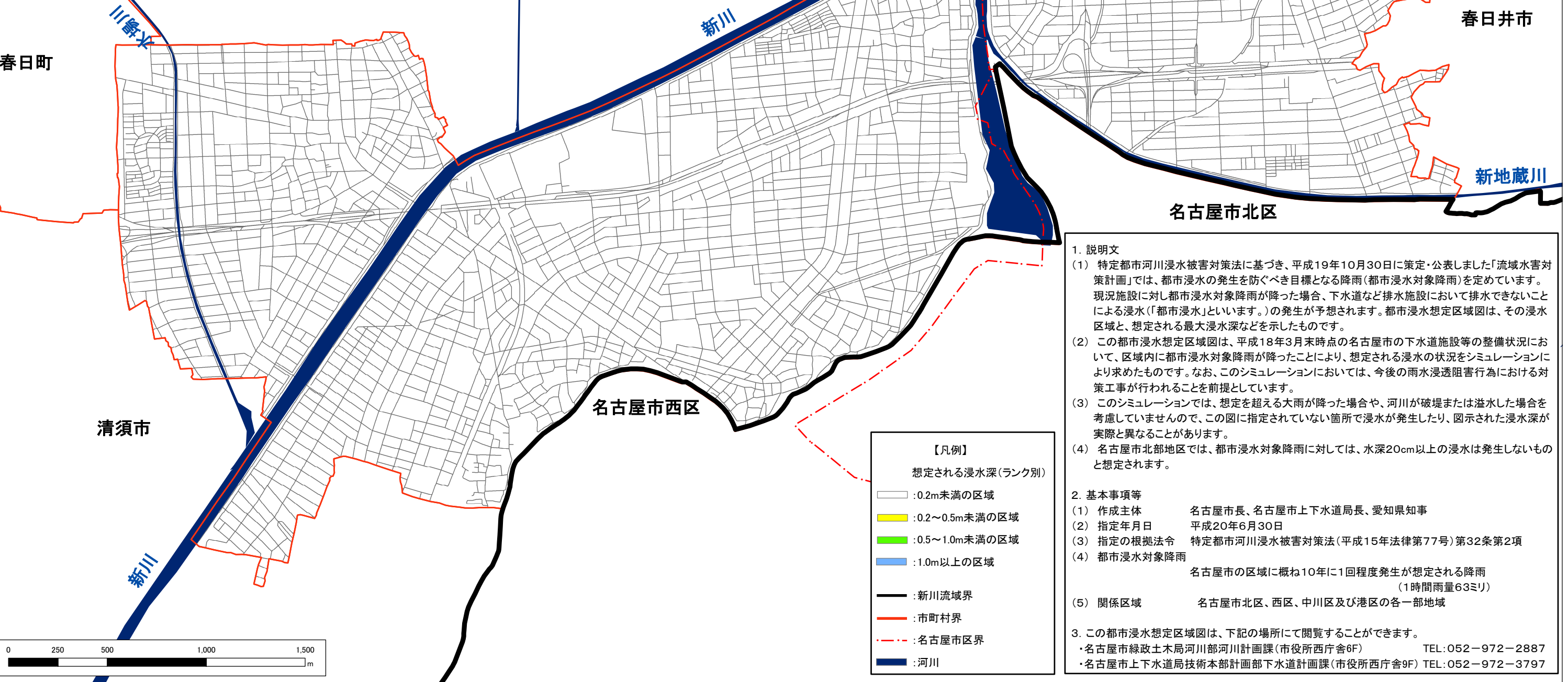


# 庄内川水系新川 都市浸水想定区域図 名古屋市北部

## 位置図



【凡例】  
想定される浸水深(ランク別)

<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:yellow;"></span>	:0.2m未満の区域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:lightgreen;"></span>	:0.2~0.5m未満の区域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:green;"></span>	:0.5~1.0m未満の区域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:blue;"></span>	:1.0m以上の区域
<span style="display:inline-block; width:15px; border-bottom:1px solid black;"></span>	:新川流域界
<span style="display:inline-block; width:15px; border-bottom:1px solid red;"></span>	:市町村界
<span style="display:inline-block; width:15px; border-bottom:1px dashed red;"></span>	:名古屋市界
<span style="display:inline-block; width:15px; border-bottom:2px solid blue;"></span>	:河川

1. 説明文
- 特定都市河川浸水被害対策法に基づき、平成19年10月30日に策定・公表しました「流域水害対策計画」では、都市浸水の発生を防ぐべき目標となる降雨(都市浸水対象降雨)を定めています。現況施設に対し都市浸水対象降雨が降った場合、下水道など排水施設において排水できないことによる浸水(「都市浸水」といいます。)の発生が予想されます。都市浸水想定区域図は、その浸水区域と、想定される最大浸水深などを示したものです。
  - この都市浸水想定区域図は、平成18年3月末時点の名古屋市の下水道施設等の整備状況において、区域内に都市浸水対象降雨が降ったことにより、想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。なお、このシミュレーションにおいては、今後の雨水浸透阻害行為における対策工事が行われることを前提としています。
  - このシミュレーションでは、想定を超える大雨が降った場合や、河川が破堤または溢水した場合を考慮していませんので、この図に指定されていない箇所でも浸水が発生したり、図示された浸水深が実際と異なることがあります。
  - 名古屋市北部地区では、都市浸水対象降雨に対しては、水深20cm以上の浸水は発生しないものと想定されます。
2. 基本事項等
- |              |   |
|--------------|---|
| (1) 作成主体     | 名古屋市長、名古屋市上下水道局長、愛知県知事                  |
| (2) 指定年月日    | 平成20年6月30日                              |
| (3) 指定の根拠法令  | 特定都市河川浸水被害対策法(平成15年法律第77号)第32条第2項       |
| (4) 都市浸水対象降雨 | 名古屋市の区域に概ね10年に1回程度発生が想定される降雨(1時間雨量63ミリ) |
| (5) 関係区域     | 名古屋市北区、西区、中川区及び港区の各一部地域                 |
3. この都市浸水想定区域図は、下記の場所にて閲覧することができます。
- 名古屋市緑政土木局河川部河川計画課(市役所西庁舎6F) TEL:052-972-2887
  - 名古屋市上下水道局技術本部計画部下水道計画課(市役所西庁舎9F) TEL:052-972-3797